

## “ つつが虫病 ” に注意！

群馬県の届出数（平成22年1月4日～平成22年11月29日）

平成22年のつつが虫病の届出数は10例で、11月に入って7例の届出がありました。今年の推定感染地域は吾妻地区3例、西部地区2例、富岡地区2例、渋川地区1例、利根沼田地区1例、他県1例です。また、初診月別では昨年12月1例、4月1例、5月1例、10月2例、11月5例です。

### どんな病気？

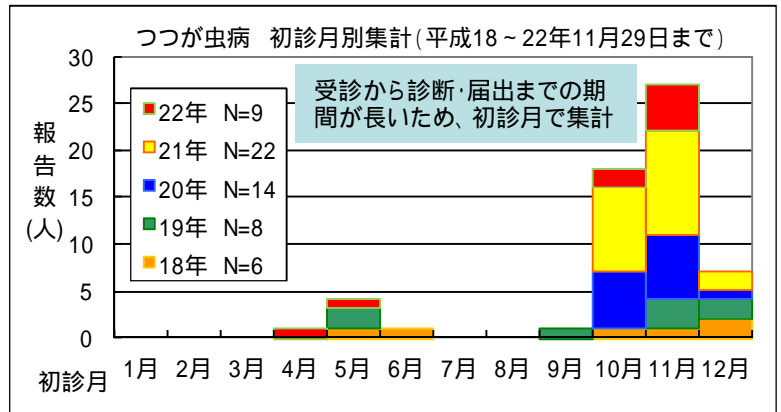
主に秋～初冬、または春～初夏にかけて多くみられる感染症で、つつが虫病リケッチアという病原体を持っているツツガムシの幼虫に刺されることで起こります。

ツツガムシは、ダニの一種で、山林、河川敷などの草地、耕作地などに生息し、病原体を持っていることがあります。

群馬県での過去数年間に多く報告された推定感染地域は、北毛地域（吾妻・利根沼田・渋川保健所管内）です。西毛地域（西部・富岡・藤岡保健所管内）の報告もあります。

### 症状は？

発熱、発疹、刺し口（5～10mm大）が主要徴候。症状は刺されてから7～14日後に出現します。全身倦怠感、食欲不振、頭痛、リンパ節腫脹などの症状も伴います。



### 予防法は？

農作業、山菜採り、河川敷の散歩時などは、ツツガムシに刺されないように以下のことに注意してください。ワクチンや予防薬はありません。

- (1) 長袖・長ズボンを着用し、素肌を出さない。
- (2) 草の上に腰をおろしたり、寝転んだりしない。
- (3) 作業中に脱いだ上着やタオルなどを草の上に放置しない。
- (4) 防虫スプレーを使用する。
- (5) これらの場所に立ち込んだ後は入浴しましょう。

### 症状がでたら

早期治療が大切です。山林や田畑、川原などに立ち入ってから1～2週間後に、発熱や発疹などの症状が現れた場合には、すみやかに医療機関を受診しましょう。その際、これらの場所に立ち込んだことを医師に申し出てください。

治療が遅れると重症化することもあります。

もっと詳しい情報は、ツツガムシ病（国立感染症研究所）

[http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02\\_g1/k02\\_13/k02\\_13.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_13/k02_13.html)

推定感染地域（平成18年～22年11月29日届出までN=57）

